

【現場除雪事例：H13 山形県 17】

除雪工夫分類	B4:シートの活用 / A3:除雪範囲の明示
工事種別	河川工事
工事名称	玉川護岸 その2工事
施工場所	山形県西置賜郡小国町大字小玉川地先
工期	平成13年9月29日～平成14年3月29日
使用機材 / 機械	スノースコップ、スノーダンプ / バックホウ 0.7m ³ クラス、ブルドーザーD2 クラス
現場除雪の工夫・留意点等	護岸工事にあたり法面長が約12m あるため、法面凍結防止もかねて法全面に降雪前にブルーシートで仮固定張りを施した。よって降雪を利用できた。路肩にはポール及び目印旗等を立て、機械除雪の手助けをした。バックホウにおいては、法面バケットを使用し、現場内路面平滑に除雪をおこなった。現場事務所の建場を除雪及び雪捨を考慮した位置を見込み設置した。



シートを利用した機械除雪

【現場除雪事例：H13 新潟県 10】

除雪工夫分類	B4:シートの活用 / A3:除雪範囲の明示
工事種別	河川工事
工事名称	河川整備 第1501-00号 1級河川 雁平川県単河川整備工事
施工場所	新潟県中頸城郡清里村大字今曾根地内
工期	平成13年11月21日～平成14年2月15日
使用機材 / 機械	角スコップ / バックホウ 0.4m ³ 級、バックホウ 0.15m ³ 級
現場除雪の工夫・留意点等	付近に集積ヤードを確保した。(民地田)護岸工施工ヤードにおいては、毎日終業時に全体をブルーシートで覆い、降雪時に対応しやすいようにしている。測量杭、丁張や資機材箇所にはポールなどにて明示している。作業道は除雪が容易なように、広めに敷鉄版している。



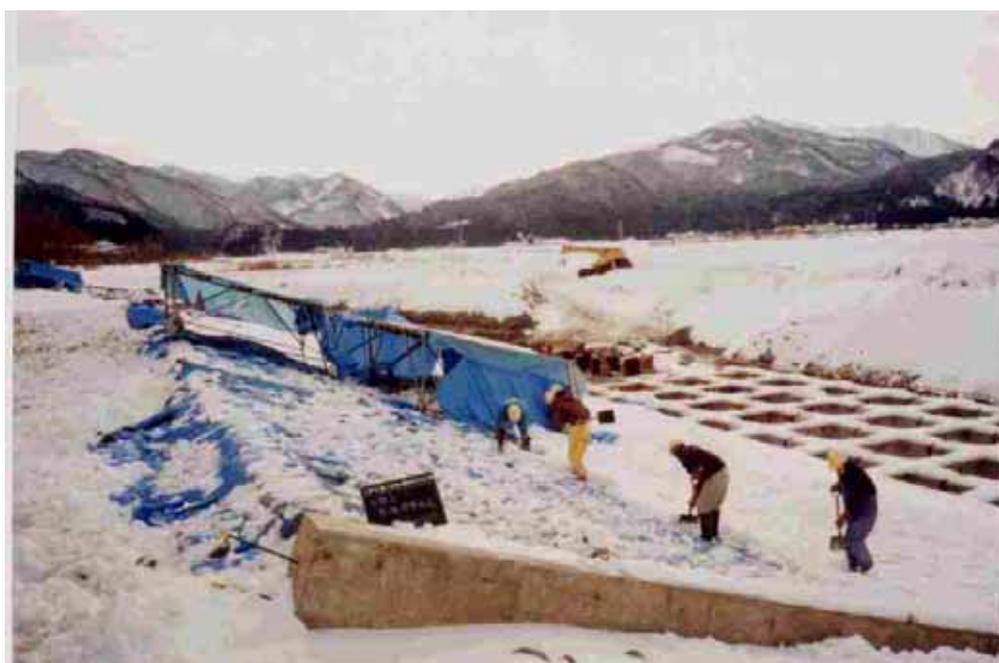
施工箇所のシートによる保護

【現場除雪事例：H13 新潟県 26】

除雪工夫分類	B4:シートの活用 / A3:除雪範囲の明示
工事種別	河川工事
工事名称	13 災河第 1 1 3 号 佐梨川 1 3 年災 河川災害復旧工事
施工場所	新潟県北魚沼郡小出町大字上原地内
工期	平成 13 年 11 月 14 日～平成 14 年 3 月 31 日
使用機材 / 機械	ブルドーザー40t、バックホウ 0.7m3 級
現場除雪の工夫・留意点等	現場までの運搬路として河川堤防を利用しているが、堤防下に堤外水路があり、河川内への排雪により堤外水路を詰まらせる危険性があるため堤外水路に鉄板を敷設し養生した。護岸ブロック張り施工法面に土木シートを敷設し、人力除雪を容易にした。施工区域付近の田区を借地し、土木シートを敷設し排雪地にした。運搬路として使用する堤防天端に除雪作業中の転落防止対策として、鉄筋棒、竹竿を利用したスノーポールを設置した。
	
<p>護岸法面の土木シートによる保護</p>	

【現場除雪事例：H13 富山県 2】

除雪工夫分類	B4:シートの活用 / B3:機械（機材）の適切な選定 / A3:除雪範囲の明示
工事種別	河川工事
工事名称	墓ノ木低水護岸 その2 工事
施工場所	富山県下新川郡入善町墓ノ木地先
工期	平成 13 年 2 月 28 日～平成 14 年 2 月 22 日
使用機材 / 機械	スコップ / バックホウ 0.7m ³ 、タイヤショベル 2.0m ³ 級
現場除雪の工夫・留意点等	降雪が予想される場合は、事前にブルーシートを敷き、上部から下部に向かって除雪作業を行った。作業の際は、足元が滑りやすいので作業員にスパイク付長靴をはかせて行った。スコップはアルミ製で軽量なものを使用した。タイヤショベル等の重機使用の場合は構造物、路肩等にポール、カラーコーンを設置して行った。



法面除雪作業状況（ブルーシート敷設）

【現場除雪事例：H13 富山県 6】

除雪工夫分類	B4:シートの活用 / A3:除雪範囲の明示
工事種別	河川工事
工事名称	富山空港整備 付替水路その3工事
施工場所	富山県富山市新保地内
工期	平成13年10月29日～平成14年1月31日
使用機材 / 機械	スコップ / バックホウ 0.25 級
現場除雪の工夫・留意点等	降雪が予想される場合は、予め構造物を、ブルーシートなどで覆っておく。(施工途中のもの) 除雪は人力により、構造物の位置などがわかるようにした後、バックホウなどの重機を用いて、現場内ヤードなどに集積するか、付近に排雪してもよい河川、水路などがあれば流す。(確認必要)



シート養生により積雪を防ぐ

【現場除雪事例：H13 石川県 4】

除雪工夫分類	D1:構造物への配慮 / B4:シートの活用 / A3:除雪範囲の明示
工事種別	河川工事
工事名称	二級河川森下川広域基幹河川改修工事(2工区)
施工場所	石川県金沢市月浦町地内
工期	平成13年10月12日～平成14年3月8日
使用機材 / 機械	スコップ、ジョレン / バックホウ 0.7m ³
現場除雪の工夫・留意点等	既設構造物を傷つけないよう留意した。降雪が予想される時は材料をシートで覆ったり、ポールを立てて標示する。



【現場除雪事例：H14 北海道 12】

除雪工夫分類	A3:除雪範囲の明示 / B4:シートの活用
工事種別	河川工事
工事名称	後志利別川改修工事の内 今金 3 号樋門改築工事
施工場所	北海道瀬棚郡今金町
工期	平成 14 年 10 月 11 日～平成 15 年 3 月 20 日
使用機材 / 機械	バックホウ 0.8m ³ 、ダンプトラック 10t、ブルドーザ排出ガス対策型普通 19t
現場除雪の工夫・留意点等	築堤上の道路を除雪する際に、堤体を損傷しない様に路肩に 30 cm ごとに着色した見出しを建植し、積雪深が分かるようにし、細かな動きが出来るバックホウを使用した。土工箇所を除雪を省力化する為に、除雪シートを使用した。



除雪シートによる除雪状況

【現場除雪事例：H13 岩手県 19】

除雪工夫分類	B4:シートの活用 / B1:除雪範囲の限定
工事種別	河川工事
工事名称	雪谷川筋軽米地区災害復旧助成（第13工区）工事
施工場所	岩手県九戸郡軽米町地内
工期	平成13年7月19日～平成14年3月15日
使用機材 / 機械	バックホウ 0.4m ³ 、バックホウ 0.7m ³ 、バックホウ 0.2m ³
現場除雪の工夫・留意点等	施工途中の箇所にはシートで養生をしておく。施工範囲を実施工程により決定して、余分に広げない。



シートによる全面養生

【現場除雪事例：H13 北海道 12】

除雪工夫分類	D1:構造物への配慮 / B4:シートの活用
工事種別	河川工事
工事名称	石狩川改修工事の内 近文頭首工下流左岸保護工事
施工場所	北海道上川郡当麻町
工期	平成 13 年 10 月 23 日～平成 14 年 3 月 11 日
使用機材 / 機械	雪かき、アルミスコップ / バックホウ (法バケット) 0.7m ³ 級、ダンプトラック 4t
現場除雪の工夫・留意点等	バックホウなどの機材で、直接除雪するのではなく、人力で構造物等をキズ付けないように除雪した後に、バックホウで集積、空地へダンプ運搬する。構造物に降雪シートを敷いておいて、除雪の時シートをめくるようにはがすと、速く、キレイに除雪できる。但し、降雪量が少なく 5cm 程度の場合となる。シートを敷いておく。速くキレイに除雪するため。法バケット付のバックホウ 巾が広く、集積能率が良い。ダンプ排雪用。



現場内除雪状況

【現場除雪事例：H13 北海道 34】

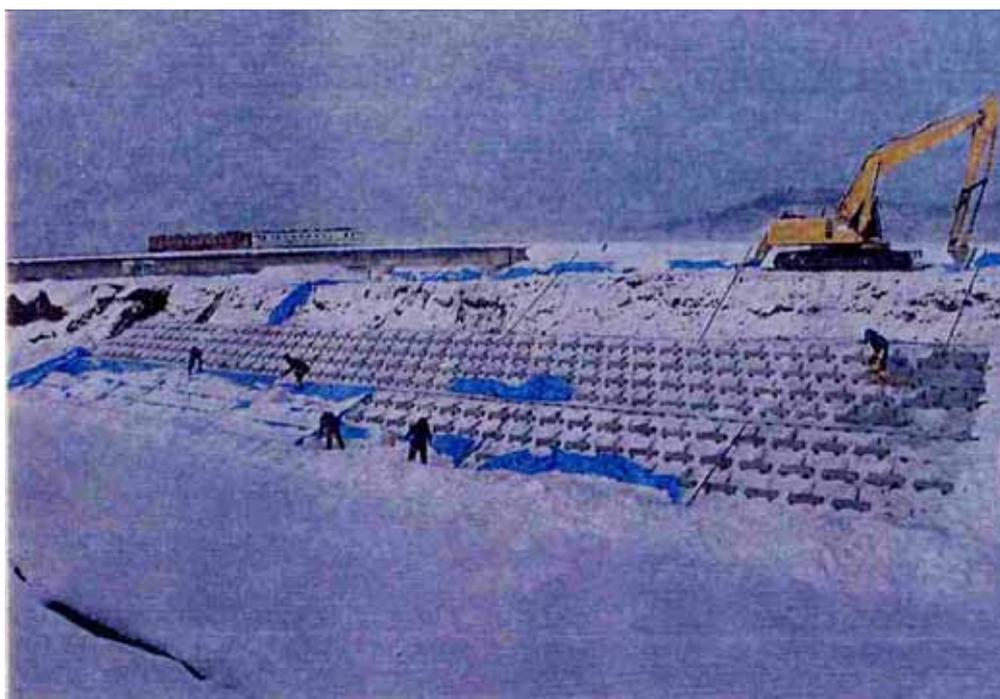
除雪工夫分類	B4:シートの活用 / B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	河川工事さや管理設工事
工事名称	石狩川改修工事の内 空知川情報基盤整備外工事
施工場所	北海道富良野市・南富良野町
工期	平成 13 年 10 月 16 日～平成 14 年 2 月 25 日
使用機材 / 機械	バックホウ 0.8、バックホウ 0.5、ブルドーザ 6t
現場除雪の工夫・留意点等	法面等除雪後はシートで覆い、放置後は人力で行うようにする。部分的な箇所はバックホウ、距離がある場合はブルドーザを使用、バックホウは法面バケットを装着。



既設構造物を破損させぬよう人力併用

【現場除雪事例：H13 北海道 53】

除雪工夫分類	B4:シートの活用
工事種別	河川工事
工事名称	石狩川改修工事の内 下此布築堤河岸保護工事
施工場所	北海道上川郡此布町南1線1号
工期	平成13年11月16日～平成14年2月18日
使用機材/機械	ブルドーザー5t級、バックホウ0.7m ³ 級
現場除雪の工夫・留意点等	護岸ブロック布設箇所はビニールシートで覆い、除雪はシートをたぐりながら法ジリに雪を集めて人力で除雪する。法ジリに集めた雪をバックホウのバケットに入れて排雪する為、バックホウアームを長くした。



シートによる除雪

【現場除雪事例：H13 北海道 64】

除雪工夫分類	B4:シートの活用
工事種別	河川工事
工事名称	十勝川改修工事の内 上幌岡締切樋門工事
施工場所	北海道十勝郡豊頃町
工期	平成 13 年 9 月 18 日～平成 15 年 3 月 28 日
使用機材 / 機械	除雪スコップ、除雪スコップ、ワイヤーモッコ、竹ボーキ/バックホウ 0.6m ³ 級、ブルドーザー-21t 級、ブルドーザー-6t 級、ラフタークレーン 20t 級
現場除雪の工夫・ 留意点等	重機の使用出来ない場所には、あらかじめブルーシートを敷き、人力によりワイヤーモッコに積込み、クレーンで排雪する。構造物、資材周りは、人力及びバックホウにより集積してからブルドーザで除雪する。



構造物をシート養生して除雪作業を容易にする

【現場除雪事例：H13 北海道 80】

除雪工夫分類	B4:シートの活用 / B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	河川工事
工事名称	石狩川改修附帯工事の内 石狩川橋りょう旧橋撤去外工事
施工場所	北海道札幌市北区篠路町福移（左岸側）、石狩郡当別町太美（右岸側）
工期	平成 13 年 7 月 4 日～平成 14 年 3 月 8 日
使用機材 / 機械	雪ハネ用スコップ、養生シート（耐吊荷重補強） / バックホウ 0.7m ³ 級、ダンプトラック 10t 級、ブルドーザー 3t 級
現場除雪の工夫・留意点等	<p>施工途中の構造物や整形が完了した法面及び覆土前のブロック面等に次の工程に影響のある着雪や氷雪を防ぐために養生シートを作業完了時に敷設して降雪に備え、降雪があった場合には、シートの四隅にワイヤーフックを取付け、雪を包み込んで吊り上げ排雪する。養生シートは通常のシートでは雪の荷重に耐えられないため、ある程度の厚みと強度があり、ワイヤーフックを取り付けるコーナー部分を吊荷重用に補強したシートを使用する。</p>



耐吊荷重用補強シートによる除雪

【現場除雪事例：H13 北海道 84】

除雪工夫分類	B4:シートの活用
工事種別	河川工事
工事名称	石狩川改修工事の内 早苗別川樋門改築工事
施工場所	北海道江別
工期	平成 12 年 9 月 21 日～平成 14 年 3 月 19 日
使用機材 / 機械	バックホウ 0.6m ³ 、タイヤショベル 1.2m ³ 、ブルドーザー19t、ブルドーザー6t、ラフタークレーン 35t 吊
現場除雪の工夫・留意点等	ブロック布設箇所にシートを布設し、ブロック布設時にシートに積もった雪をクレーンで吊り上げ、排雪する。ブロック布設後、覆土を行うまでについても上記と同様の手順で行う。



ブロック布設後シート敷設

【現場除雪事例：H13 北海道 86】

除雪工夫分類	B4:シートの活用
工事種別	河川工事
工事名称	石狩川改修工事の内 大学排水樋門改築工事
施工場所	北海道夕張郡長沼町
工期	平成 13 年 9 月 13 日～平成 15 年 3 月 20 日
使用機材 / 機械	スコップ / 可変ブレード 1.9m ³ 級、タイヤショベル 1.2m ³ 級、バックホウ 0.7m ³ 級、ブルドーザ 8t
現場除雪の工夫・留意点等	施工場所内は夕方、青シートにて養生し、降雪時は人力で除雪、工事用道路は機械による除雪。



施工エリア除雪

【現場除雪事例：H13 北海道 88】

除雪工夫分類	B4:シートの活用 / B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	河川工事
工事名称	石狩川改修工事の内 登万別樋門改築工事
施工場所	北海道 江別市 東野幌
工期	平成 12 年 9 月 21 日～平成 14 年 3 月 20 日
使用機材 / 機械	プラスチック雪ハネ、プラスチックスコップ / タイヤショベル 1.3m ³ 級、ブルドーザ 3t 級、バックホウショベル 0.7m ³ 級、バックホウショベル(スーパーロング)0.45m ³ 級
現場除雪の工夫・留意点等	凹凸が生じないように 整形、整地を行い 除雪しやすいようにする。法面にシートを張り、雪を落としやすいようにする。専用のタイヤショベルを使用し、作業時間を短縮する。 高低差が大きい箇所に対応するスーパーロングバックホウを使用する。



法面除雪状況

【現場除雪事例：H13 北海道 92】

除雪工夫分類	B4:シートの活用
工事種別	河川工事
工事名称	石狩川改修工事の内14号川1号樋門外工事
施工場所	北海道空知郡奈井江町
工期	平成13年2月28日～平成14年3月15日
使用機材/機械	除雪用スコップ、ママさんダンプ/バックホウ 0.7m ³ 級、ブルドーザ D31P
現場除雪の工夫・留意点等	作業終了時、作業箇所に除雪シートを掛ける。作業前、シート上に降雪がある場合は、排雪する。



【現場除雪事例：H13 北海道 93】

除雪工夫分類	B4:シートの活用
工事種別	河川工事
工事名称	石狩川改修工事の内 14号川4号樋門外工事
施工場所	北海道空知郡奈井江町
工期	平成13年3月8日～平成14年3月13日
使用機材/機械	除雪用スコップ/バックホウ 0.7m ³ 級、ブルドーザーD30P
現場除雪の工夫・留意点等	作業終了時、作業箇所に除雪シートを掛ける。朝シート上に降雪有る時は、シートを4本のワイヤーで吊り排雪する。



除雪シート使用（バックホウにて排雪）

【現場除雪事例：H13 北海道 147】

除雪工夫分類	B4:シートの活用 / D1:構造物への配慮
工事種別	河川工事
工事名称	石狩川改修工事の内 愛別魚道構築工事
施工場所	北海道上川郡愛別町金富
工期	平成 13 年 9 月 26 日～平成 14 年 3 月 11 日
使用機材 / 機械	スコップ(けん先)、スコップ(角)、スコップ(プラスチック)、スコップ(大プラスチック) / バックホウ 0.7m ³ 、ブルドーザ D30(7t)、バックホウ(クレーン式) 0.7m ³ (2.9t 吊)、ブルドーザ-D60(16t)、ダンプトラック 10t
現場除雪の工夫・留意点等	スコップをもった作業員が主につき、重機と混在で施工。施工箇所には、構造物とのあいだにシートを張っておき、雪がシート上をすべり、あつめやすい状況を作るとともに、ブロック等のあいだ(こまかい所)にある雪をとりやすくする。自然石の石積み箇所は、こまかい起伏が多く、石積みをいためるので主には、石工が立ちあい施工。雪の置き場、集積箇所をはじめから設定し、現場施工箇所とのエリアわけを決めておく。
	
<p>除雪状況</p>	

【現場除雪事例：H13 北海道 155】

除雪工夫分類	B4:シートの活用
工事種別	河川工事
工事名称	鶴川(特対)改修工事(冬)
施工場所	北海道穂別町字富内地内
工期	平成13年10月16日～平成14年2月4日
使用機材/機械	スコップ/D31Aブルドーザー6t、0.7m ³ バックホウ0.7m ³
現場除雪の工夫・留意点等	法面にブルーシートを設置し、そこに雪をなげて下にすべりおとす。下にたまった雪をバックホウで除雪する。



【現場除雪事例：H13 北海道 158】

除雪工夫分類	B4:シートの活用
工事種別	河川工事
工事名称	富良野川改修工事 学田地区
施工場所	北海道富良野市学田地区
工期	平成 13 年 11 月 30 日～平成 14 年 3 月 25 日
使用機材 / 機械	バックホウ 0.6m ³ 、バックホウ 0.4m ³ 、押しブル D30P、キャリアダンプ 4t
現場除雪の工夫・留意点等	掘削法面及び構造物については、全面ブルーシートにて養生。(人力除雪手間の軽減化)



施工時シート養生及び除雪

【現場除雪事例：H13 青森県 6】

除雪工夫分類	B4:シートの活用
工事種別	河川工事
工事名称	平川第六排水樋管補修工事
施工場所	青森県弘前市大字撫牛子地内
工期	平成13年9月29日～平成14年2月28日
使用機材/機械	雪かき用スコップ、ブルーシート/バックホウ0.7m ³
現場除雪の工夫・留意点等	作業終了時には、後日の除雪を速かに出来るよう、シートによる法面及び、資材の養生をした。作業開始時は、全員による除せ。



施工箇所の全面養生シート

【現場除雪事例：H13 秋田県 5】

除雪工夫分類	B4:シートの活用 / B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	河川工事
工事名称	大館地区堤防法面整正工事
施工場所	秋田県大館市小館花地内
工期	平成 13 年 9 月 28 日～平成 14 年 1 月 31 日
使用機材 / 機械	除雪用スコップ / バックハウ油圧式 0.7m ³ 型 SK200LC-3
現場除雪の工夫・留意点等	法面による作業のため作業終了後シートを張り、できるかぎり、法の雪に対しては、すべらせた下部に集めさせるようにした。使用機械及び機材（スコップ）等は、グリップが握りやすいものにした。



シート養生による対策

【現場除雪事例：H13 秋田県 7】

除雪工夫分類	B4:シートの活用
工事種別	河川工事
工事名称	河川災害復旧工事
施工場所	秋田県北秋田郡森吉町根森田 2 号地内
工期	平成 14 年 1 月 24 日～平成 14 年 3 月 25 日
使用機材 / 機械	スコップ / バックホウ 0.7m ³
現場除雪の工夫・留意点等	<p>施工ヶ所、法長 1 2 m、L = 3 0 m の施工部に全て、ブルーシートにて養生をし、降雪が直接法面に付着しないよう、午後 4 時頃より施工し、夜間の降雪に備える。付着した雪を全て、法下に除去し、バックホウ 0 . 7 m³ にて除雪する。</p>

【現場除雪事例：H13 秋田県 8】

除雪工夫分類	B4:シートの活用
工事種別	河川工事
工事名称	河川局部改良工事 KC12-20
施工場所	秋田県桧山川、能代市桧山字上谷地地内
工期	平成13年6月29日～平成14年3月20日
使用機材/機械	除雪スコップ、竹ぼうき/バックホウ 0.4m ³ 、バックホウ 0.4m ³ 、タイヤローダー1.5m ³
現場除雪の工夫・留意点等	<p>構造物施工なので、作業終了後、シートにて養生する。朝、作業前にシート上にたまった雪を集積して、除雪スコップなどで構造物外に投棄する。屋根をかけて雪が入らないようにする。除雪スコップ 3～4本 バックホウ 0.4m³、0.7m³ 単管、ブルーシート</p>



堰本体に屋根をかけてシートにて養生

【現場除雪事例：H13 秋田県 9】

除雪工夫分類	B4:シートの活用
工事種別	河川工事
工事名称	広域河川改修工事 KA13-20
施工場所	秋田県秋田市下北手松崎地内
工期	平成13年10月22日～平成14年3月25日
使用機材/機械	角スコップ 雪ベラ/バックホウ
現場除雪の工夫・留意点等	当現場は延長の長い護岸ブロック施工の現場でしたので、裏の砕石、法面等に雪をできるだけつかないようにシートで養生をしています。

【現場除雪事例：H13 山形県 9】

除雪工夫分類	B4:シートの活用
工事種別	河川工事
工事名称	平成13年度 荒砥川(滝野)河川局部改良事業局部改良工事
施工場所	山形県西置賜郡白鷹町大字滝野地内
工期	平成13年10月19日～平成14年3月22日
使用機材/機械	バックホウ 0.7m ³ 、バックホウ 0.4m ³
現場除雪の工夫・留意点等	運搬路、作業道路はバックホウを使用し、出来る限り集積せずに川に流した。構造物等は、前日シートで覆い、翌日出来るだけ除雪の手場がかからない様にした。機械はバックホウを用いて行い、人力では除雪スコップを使用。



人力除雪

【現場除雪事例：H13 山形県 15】

除雪工夫分類	B4:シートの活用 / B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	河川工事
工事名称	平成13年度 基幹河川改修事業 沼川護岸工事
施工場所	山形県寒河江市大字寒河江地内
工期	平成13年11月2日～平成14年3月25日
使用機材 / 機械	スコップ、スノーダンプ、コンガード（電熱シート） / 0.25 バックホウ、0.7 バックホウ PC-200、タイヤショベル CAT-910F
現場除雪の工夫・留意点等	作業工区を広げないように、施工を行なった。機械除雪が出来ない部分へ、コンクリート養生シートを利用し融雪した。機械除雪は、バックホウとタイヤショベルを場所に合わせて使い分けた。コンクリート冬期養生シート（電熱）が降雪に対応出来る為、現場で使用してみた。



電気シートによる消雪

【現場除雪事例：H13 新潟県 13】

除雪工夫分類	B4:シートの活用
工事種別	河川工事
工事名称	13 災河第 1 2 号 東川 1 3 年災河川災害復旧工事
施工場所	新潟県東頸城郡松之山町大字赤倉地内
工期	平成 13 年 12 月 21 日～平成 14 年 3 月 15 日
使用機材 / 機械	スノーダンプ、スコップ / バックホウ 0.7m ³ 級、ブルドーザー-D20PL 級
現場除雪の工夫・留意点等	現場に搬入した資材やブロック等材料にはビニールシートをかけて除雪をやり易い様にした。現場で使用するクラッシャーランを大型土のう詰にして搬入し雪の混入を防ぐと共に除雪作業を容易にした。バックホウのバケツの中に人力で雪を投入しより遠方へ排雪した。



【現場除雪事例：H14 山形県1】

除雪工夫分類	B4:シートの活用
工事種別	河川工事
工事名称	富田桜つつみ工事
施工場所	山形県最上郡舟形町
工期	平成14年12月10日～平成15年3月20日
使用機材/機械	ブルドーザー15t、バックホウ0.8m3、
現場除雪の工夫・留意点等	シートを覆って除雪部の減少に努めた。



現場内及びシート覆い状況

【現場除雪事例：H13 北海道 120】

除雪工夫分類	B4:シートの活用 / C1:作業員の安全
工事種別	河川工事
工事名称	鶴川改修工事の内 有明3号樋門呑口改良外工事
施工場所	北海道鶴川町、穂別町
工期	平成13年12月19日～平成14年3月18日
使用機材 / 機械	除雪スコップ、スコップ / バックホウ 0.8m ³ 級、バックホウ 0.5m ³ 級、ブルドーザー 8t 級、ブルドーザー 15t 級
現場除雪の工夫・留意点等	<p>毎日仕事が終わる前に作業を止め、天端などは平らに仕上げ、しっかり締固めをして機械で除雪しやすい様にしておく。法面もかならず仕上げて締固めをして人間も機械も、作業しやすい様にしておく。その際法面にはシートなどを掛けておく。機械は主にバックホウとブルドーザを使用する。基本的にはブルドーザを使用し、ブルドーザが作業出来ない箇所は人力とバックホウを使い、雪はバックホウで型を整え崩れない様にしっかり固めておく除雪には作業指示者を指名し、作業機械との間隔等に注意して作業する</p>
	
<p>人力による除雪</p>	

【現場除雪事例：H13 北海道 17】

除雪工夫分類	B4:シートの活用 / C4:土砂混入軽減・防止
工事種別	河川工事
工事名称	西松建設(株)札幌支店
施工場所	北海道旭川市江円別町嵐山
工期	平成 13 年 6 月 19 日～平成 14 年 1 月 15 日
使用機材 / 機械	アルミスコップ(大角) ションバー/バックホウ 0.7m ³ 級、ロータリー式除雪機 25 馬力
現場除雪の工夫・留意点等	<p>施工部をシートにて養生し、作業開始時シートを除雪し、シートを取り作業を行った。作業通路は現場で使用しているバックホウにて除雪を行った。降雪後の着手部については、平面部はロータリー除雪機を使用し、土砂がまざらぬ様にした。</p>



シート養生状況

【現場除雪事例：H14 北海道 7】

除雪工夫分類	B4:シートの活用 / D2:路面・法面への配慮
工事種別	河川工事
工事名称	十勝川改修工事の内 千代田上流河岸保護工事
施工場所	北海道中川郡葛別町
工期	平成 14 年 11 月 23 日～平成 15 年 3 月 10 日
使用機材 / 機械	ブルドーザー15t、バックホウ 0.8m ³ 、ダンプトラック 10t、バックホウ 排出ガス対策型クローラ型平積 0.7m ³
現場除雪の工夫・ 留意点等	大雪の時はその日にダンプ排雪はしないである程度集積し、体積をへらして翌日に搬出した。法面に吸出防止シートの布設した箇所は、端を人力で出して積雪 42cm の内 10cm 程度を残してシートを痛めない様に上側を機械除雪し、残り 10cm 程度を人力で下にかき下して除雪した。



吸出防止シート上の除雪開始状況

【現場除雪事例：H13 北海道 9】

除雪工夫分類	B4:シートの活用 / D3:樹木等への配慮
工事種別	河川工事
工事名称	石狩川改修工事の内 志比内橋下流右岸河岸保護工事
施工場所	北海道東川町
工期	平成 13 年 12 月 15 日～平成 14 年 3 月 25 日
使用機材 / 機械	バックホウ 0.7m ³ 、バックホウ 0.4m ³ 、ブルドーザー、ブルドーザー-D30P、クローラードンプ 0.6m ³
現場除雪の工夫・留意点等	<p>現場内で決めた雪捨場が遠い場合 バックホウおよびブルドーザにより集積し、クローラードンプにより運搬する。近い場合 バックホウおよびブルドーザにより集積、堆積する施工中ヶ所にはシート等で覆い、人力およびラフタークレーン又は、クレーン仕様バックホウで施工外区域に処理する。施工ヶ所では、ところどころ立ち木を残しているの、バックホウによる集積になる。ある程度の範囲で立ち木の影響のない場所はブルによる集積になる。着工前から、かなりの積雪がある為、施工ヶ所近くには堆積できないので運搬によるが運搬路がない為クローラードンプ運搬となる。ブロック施工中のヶ所は、シートで保護する為、シート内の雪を一気に処理したい為クレーンおよびクレーン仕様バックホウで吊り上げ、施工外区域に処分する。堆積場合も立ち木の影響のないところを選んだ。当初の除雪は枝木および草木とうが入る為、川での処分はしない。</p>



クレーンによる除雪